

事業者向け	事業所名		放課後等デイサービスきらり	
	アンケート実施期間		平成 29年 11月 15日から平成 29年 12月 7日まで	
	配布数		7枚(回収率100 %)	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
例	0	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	1	・利用する子どもの状況に合わせて備品の配置を変えています。 ・襖を撤去すれば広くなるので、今後速やかに対応したい。 など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	3	・個別のスペースは取れないがパーテーション等で工夫をしている ・もう1室欲しいと感じている
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	2	・基準上では適切ではあるが企画の内容によっては足りないと感じる時もある ・人数よりも職員の意識の向上が必要としていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	2	・デッキの高さが気になる ・玄関スペースなど素板をひき、中と外の区別を施す工夫をしている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	0	・大きな企画がある事に職員全員が反省を話す機会が設けられている ・解決策を一緒に考える様にしていきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	3	・保護者参加型の企画の後にはアンケート用紙を配布し、意向を知る事ができるようにしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3	3	・今回からの取り組み
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3	・これを基に業務改善を行っていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1	・ほぼ毎月研修に行き、より良い支援に向けて積極的に資質の向上をおこなっている ・新規職員は無論、日々の支援の姿から必要なものを選んでいく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2	3	・職員全員の意見を聞き、元児官が方針を作成している ・細かく見ていき、家庭での様子は保護者に聞き、必要であれば学校にも尋ね、子どもを理解した上で作成することを心がけていきたい
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	3	・利用している ・自分独自の考え方になっている傾向がある。標準化されているものを改めて見直す必要がある
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	2	・どうしたらより良い活動になるかを皆で知恵を寄せ合っている ・職員の得意分野で活かせる事、子どもたちに体験して欲しい事などを含め立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	2	・こども会議を開き、子ども達自信がやりたい事を形に現している ・日本ならではの文化や、毎月の行事。季節も含め新しい物への視野を広げようとしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	1	・休日にはおでかけ等、時間の都合上、平日には出来ない事を実施している ・各企画の中で個別に何をねらい、経験する事で楽しんでいけるかを考え支援している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	3	・元児官が他の職員からその時の子どもの状況などを聞き取り、それぞれの子どものニーズに合わせている ・個別に関わる事で理解出来る点と集団の中で理解出来る点を考え、その個人を第一優先に計画を
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	0	・日報に記載し、その日いなかったスタッフにも周知できる体制にしている ・勤務時間に差がある為、口頭での打ち合わせを含め日報での共通理解を図っている

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	1	・日報の活用と同時に、浮かび上がった問題点に関しては書面を作成し、職員全員に周知を図っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	3	0	・実施記録において活動の記録だけではなく、個別支援計画のねらいについてもどんな姿が見られたかを記入し、日々見直す事が出来るようにしている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	2	・職員で子どもの担当を決めモニタリングを行い、不足している部分を見極め計画の見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	3	1	・総則を今一度見直し、足りないところを補っているようにしている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	3	・出席の依頼は現状ではないが、要請があった場合には参加していきたい
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	1	・送迎時はもちろん行事等にも顔を出し、先生方と話が出来る雰囲気づくりを心掛けている。又、関わり方などどうされているかなど自分から尋ね教えて頂く事で共有出来ている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	3	・ケアが必要な児童は現在はいない。保護者にはかかりつけの病院名と担当医の氏名まで教えて戴いている ・医療的ケアが必要な児童は受け入れる体制をとっていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	2	・繋がっている施設と繋がりにくい施設がある。こちら側が訊ね、繋がっていく必要はあると感じる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	3	・全部ではないが他事業所への連携体制はとっている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	2	・定期的に各相談員の方が来て下さっている。見学されて、どう感じたかを聞くようにしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	・同じ法人内の学童保育とは月1回の交流を計画し、実施している
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	2	・案内があれば都合がつく限り参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	3	1	・お迎え時等、お子さんの姿を伝えながら保護者の方々がどう思われてみえるか、困った事、不安な点などが無いかなど訊ね要望があれば別に時間をとり相談を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	3	・困っている点を聞き、どう関わる事がいいかを一緒に考え、その点についての専門的知識を知る為にはどこの機関を利用すれば良いかなどを考える体制を目指している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	3	3	・事業所の総括責任者が行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	2	・まずは聞く事を第一に心掛けている。助言というよりは教えて戴き一緒に取り組む姿勢をとっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	0	・父母会の組織はない。保護者会等、多数の方が集まって戴く場合は小グループにしてみたり、同じ悩みを抱える保護者同士が考えられる場になる様、配置している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	1	・何に対してなのかを丁寧に聞き取り、保護者の思いを職員間で周知し、保護者の方にも「次からは～していくようにします」と必ず伝えるようにしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	2	・毎月のおたよりで子ども達の姿が伝わるように努めている。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	3	0	・外部には顔と名前が一致しないように配慮をしている

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0	・相手の思いに近づけるよう努力していきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	・未だ未開拓分野 ・万全な体制をとり、今後行っていきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	2	・周知はまだされてはいない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	0	・月に1度の訓練は実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	2	・新規スタッフに対しては先ずは受講して貰う様にしている
	41	このまようは物口によむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	2	・基本的に拘束はしないが、やむを得ずの場合はその場の状況をありのまま保護者の方に伝えている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	1	・保護者からの話だけで指示書までは提出を求めているが今後必要ならば提出を求めたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	1	・あった場合は速やかに記録とし、スタッフ間で同じ事のないように努めていきたい

保護者等向け	事業所名	放課後等デイサービスきらり
	アンケート実施期間	平成 29年 11月 15日から平成 29年 12月 7日まで
	配布数	29枚(回収率79.3 %)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
例	0	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2	5	・押し入れなどをうまく活用し、子どもたちの備品を適切に管理していると思います。 ・子どもたちが事業所の階段で遊んでおり、危険だと思います。 など。
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	1	・部屋の中より外のスペースが広いといいなと思います
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	5	1	・ハンデのある子は顔の表情など敏感なので、声掛けなど専門的に勉強してほしい
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	5	4	・ウッドデッキから地面まで高さがあり、落ちる可能性があります ・身体重度の方の行き帰り、通路階段等は大変では？
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21	2	0	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20	3	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	22	0	1	
保護者へ	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1	0	・お買い物の代金はおやつ・活動費で賄えないのですか

の説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	4	0	・職員全体で同じように支援の目標を知って居心地の良い環境を作って欲しい ・お迎え時に活動内容が聞けるので楽しみです
非常時等の対応	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2	0	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	8	0	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に	18	5	0	・トラブル時の解決方法、事実性がうやむやに対応している事がある ・苦情がないので分からない。あっても対応してくれる
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	4	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信	22	1	0	・あまり目を通す時間はないが楽しみにみています
	14	個人情報に十分注意しているか	20	3	0	
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	4	3	・感染症対応マニュアルはあるのだろうか
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	1	0	
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	0	・本人は通いたいと言っています ・気分によって言うのはあるが、その日の出来事を楽しそうに話してくれるので楽しめてと思います
	18	事業所の支援に満足しているか	20	2	1	・長期休み時は朝からやってくれると助かります ・子どもだけではなく保護者に対しても親身になってくれてと思います。ありがとうございます ・学校での経験とは別にきりりだからこそ出来る経験が本人の心の糧となっています。子どもの喜ぶ姿は親の糧です